

表彰委員会からのお知らせ

平成 24 年度 人間工学グッドプラクティス賞の受賞者が決まりました！

日本人間工学会では、人間工学の研究成果を応用したものづくり、人間工学の研究成果を踏まえた社会活動における優れた業績を表彰することを通じ、人間工学とその研究成果を広く社会全般に普及させることを目的とした表彰制度として「人間工学グッドプラクティス賞」（以下、本賞）を新設し平成 24 年度より運用を開始しました。

今回は平成 20 年から平成 23 年の間に人間工学グッドプラクティスデータベースに登録された 67 の案件を対象に、無作為に選ばれた人間工学専門家 100 人による 1 次審査と本学会理事長の承認を受けた認定人間工学専門家と日本人間工学会理事若干名による 2 次審査を経て、本年 5 月に開催されました理事会において最優秀賞以下、下記 13 件の受賞が決定致しました。なお表彰式は本年 6 月に九州大学にて開催された平成 24 年度定時社員総会にて行われ、理事長より受賞者に賞状と副賞（盾）が贈られました。

本賞の運営に当たり、広報委員会、人間工学専門家認定機構の多大なるご支援を頂きました。また審査では多くの人間工学専門家の先生、理事の先生方にボランティアでご参加頂きました。ご協力頂きました先生方に、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

記

受賞	受賞案件名・受賞者	受賞理由
最優秀賞	鉄道車両用円弧状手すり (公財)鉄道総合技術研究所 (株)総合車両製作所	安全性、使いやすさおよびユニバーサルデザイン性において人間工学的に非常に優れている。列車という公共性の高い空間で使用するものの改善提案であり社会への貢献度、波及効果が高いことも評価された。
優秀賞	カシコチェア 株式会社イトーキ	女性の特徴に焦点を当て、身体的性差だけでなくオフィスでの女性のニーズに良く応えたデザインに仕上がっていることがデータとともに示されている。人間工学的設計が活かされた事例としてだけでなく、社会的な貢献度も評価された。
優秀賞	マンモグラフィ乳房 X 線撮影装置 東芝メディカルシステムズ株式会社 株式会社東芝	現場観察により、使用文脈を考慮した人間工学の効力が発揮された開発事例。乳がん検診において、器具の形状の工夫で苦痛を軽減・緩和することを実現している点が評価された。
優秀賞	ベネッセ学習環境シリーズ 『学びデスク&成長チェア』 (株)ベネッセコーポレーション W&F事業本部 通販事業部	日本の伝統技術と人間工学の融合。子どもの成長を考え、豊富なモニター調査に基づき、正しい姿勢で学習に取り組むことを目的に設計されている点が評価された。
優秀賞	トップNANOX ライオン株式会社	身体サイズデータを活用し、容器の大きさ、形状、重心バランス、キャップの径などを人間工学的に設計しているだけでなく、輸送効率の向上など、企業利益と環境性能の向上を同時に実現している点が評価された。
優秀賞	腰痛・肩こり予防活動ガイドブック 名古屋市立大学大学院 榎原 毅	腰痛・肩こりに悩む人は多く、人間工学的な視点で作られ、容易に活用できるガイドラインは、人間とシステム・環境の適合性の観点から重要である点、対象が中小事業所に絞られており社会的貢献度も期待できる点が評価された。

特別賞	ERGoNoMiX ボールペン べんてる株式会社中央研究所	人間工学に基づく文具の先駆けとなった事例。官能評価分野でのチャレンジが見受けられ、人間工学を社会に広めた功績も評価された。
特別賞	白物家電を中心とする音声案内を搭載した家電商品 パナソニック株式会社 西山憲治(現在 E&U Design)	ユニバーサルデザインの観点から家電製品に音声案内機能を搭載したわかりやすい人間工学の応用事例。製品開発に人間工学的なアプローチで取り組み、実際の製品化にフィードバック、実用化していることが評価された。
特別賞	アクエリアスグリップボトル (株)コカ・コーラ 東京研究開発センター	身近な商品であるペットボトルについて、握りやすさ、持ちやすさを追求し、その評価結果やデータを定量的に示している。製品自体が人間工学的に優れていることに加え、人間工学の認知度を高めることに貢献したことも評価された。
特別賞	東芝マシナールームレスエレベーター SPACEL-EX 東芝エレベーター株式会社 株式会社東芝	エレベータの運行情報を複数のメディアをうまく組み合わせることでユニバーサル性を高める工夫がなされている。特に視聴覚弱者、聴覚障害者に対する支援手段がよく検討されている点が評価された。
特別賞 (工芸部門)	ササキ工芸裾上げくつべら革紐付き 株式会社ササキ工芸	全長を長くし、体を極度に屈めることなく使用できるくつべら。ユニバーサル性を意識して設計されていることに加え、裾を上げる、靴を揃えるなど、周辺動作の補助具として使うことも想定されている点が評価された。
特別賞 (工芸部門)	丸柄ナナメ杓子 株式会社 宮島工芸製作所	手の形状に合わせて持ち手部分を持ちやすく工夫するとともに、釜の形状に合わせて顔部分を少しななめにし、ごはん等をすくいやすくしている。洗練された日本の伝統工芸品に息づく人間工学的な考えが評価された。
特別賞 (グッドプラクティス部門)	視覚的効果の工夫によるわかりやすい情報伝達方法の改善 株式会社ニッセイ	高額な機材を導入するのではなく、大げさでない工夫により、現場での情報伝達方法を改善している。低コストで改善効果が大きいことから、社会的波及効果も期待できる点が評価された。



表彰式の様子 (左) と最優秀賞の賞状 (右)

以上